

自分らしく生きるための「緩和ケア」

富山ろうさい病院 緩和ケア認定看護師 原 直子

私は、現在外来で働いており、主に外科、泌尿器科外来を担当しています。昨年に緩和ケア認定看護師の資格を取得し、よりよい緩和ケアを提供するため、日々活動しています。

みなさん、緩和ケアと聞いて、どのようなイメージをお持ちでしょうか？
病が進んでから受けるものであって「今は治療をしているので、まだ緩和ケアを受ける時期ではない」と思われている方も多いのではないのでしょうか。今までは、がんに対する治療の効果がみられなくなってから、つらい症状を和らげる緩和ケアに切り替えるという考え方でした。

現在は、「緩和ケアに切り替える」という考え方から「がんと診断を受けた時から治療と一緒に緩和ケアで支える」という考え方に変ってきました。これは、緩和ケアが人生の最期に限ったものではなく、診断を受けた時、治療中でも受けることができるということです。そうすることで、治療に取り組む力が湧いてくる、つらい気持ちを和らげる、病気を持ちながら自分らしく生きることができると言われています。

私たちは、からだの症状だけではなく、診断を受けられた時の不安な気持ちにも対応させていただいています。当院では、医師と病気や治療方針について話し合う際、認定看護師も同席し、患者さまとご家族のサポートをしていく体制づくりをしています。そして、患者さまのこれまでの生活リズムや大切にしておられることを教えていただき、今後の過ごし方を一緒に考え、最適なケアを提供していきたいと思っています。患者さまとご家族が大切にしておられることを守れるように、今後もサポートさせていただきます。



左；原看護師 右；浜田看護師

【事業所様へご案内】 以下のような内容で講師の派遣を行っています。ご相談ください。

- ・病気に関すること
 - ・治療と就労両立支援に関すること
 - ・健診や検診に関すること
 - ・その他
- (看護部が行えること)
- ・感染管理に関すること
 - ・皮膚・排泄ケア
 - ・糖尿病に関すること
 - ・がん看護に関すること
 - ・その他

<連絡先：地域医療連携室にご連絡ください。>